

事務事業名	真岡市文化協会支援事業				担当	教育委員会 文化課 文化振興係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-7731		
施策名	6	文化芸術の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市芸術鑑賞会則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和55 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4社会教育費	8芸術文化振興		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	真岡市文化協会は、現在7部会141単位団体（芸能民舞吟部会32団体、舞台部会33団体、伝統部会23団体、展示部会14団体、茶華道部会15団体、文芸部会7団体、音楽部会18団体、会員数2,129人）が加入しており、文化団体相互の連絡協調を図り、個々の文化活動を育成するとともに、真岡市の文化水準の向上を図ることを目的に組織されている。主な事業は、文化祭の運営、芳賀地方芸術祭への参加、研修会の開催をはじめ、各部会においても発表会や研修会等各種事業を行っている。文化協会と各部会の事務局を担当しており、各種会議・研修等の通知及び総会資料の作成等を行っている。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 28年度実績 補助金交付手続き（交付申請 内容審査 交付決定 請求 交付）を経て文化団体の活動を支援するため、各部会に助成し、各種事業を展開。市文化祭への参加・運営。芳賀地方芸術祭への参加等。  29年度計画 28年度に同じ	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
	ア	補助金額	千円	859	859	859	800	800	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 文化協会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
	ア	文化協会加入団体数	団体	155	150	147	141	137	
	イ	会員数	人	2,426	2,411	2,338	2,129	2,127	
	ウ								
	エ								
	オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 文化芸術活動の普及振興を図る	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
	ア	文化団体の増加数	団体	2	-5	-3	-6	-4	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 文化芸術活動に多くの市民に参加してもらい、豊かな心を育てる。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
	ア	文化芸術活動に参加した市民の割合	%	15.1	13.5	15.3	15.7	15.7	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	859	859	859	800	800
	事業費計(A)			千円	859	859	859	800	800
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	250	250	250	250	250	
		人件費計(B)	千円	1,016	1,055	1,048	1,038	1,038	
	トータルコスト(A)+(B)			千円	1,875	1,914	1,907	1,838	1,838
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？			真岡市文化団体連絡協議会が昭和55年3月に事務局を社会教育課として設立され、平成8年6月に文化協会とし団体名を改称した。真岡市の芸能民舞吟、舞台、伝統芸能、展示、茶華道、文芸、音楽等の活動支援を目的とした。						
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？			伝統芸能、文芸及び芸術の活動者が高齢化しているため、構成団体・会員は少しずつ減少している。若い世代において、価値観が多様化しており、新規会員の加入が停滞気味である。						
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？			会員が高齢化しているため、新規会員を増やしたいとの声がある。						

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 文化芸術水準の向上につながる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 文化協会の維持・向上が困難となる。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 文化芸術の普及振興を図るための支援である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 文化協会支援のため補助しているものであり、文化芸術活動の普及が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 核となるものが無くなってしまい、芸術文化活動が低下するおそれがある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 他に類似事業がない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は、文化協会の各部会の活動に対する補助であり、必要最小限である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 総会、役員会等の資料作成、補助金交付のみの人件費であり、最小限の費用である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 会員はそれぞれ会費を納めている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							